

5月下旬より、新庁舎建設工事が始まります

昭和48年に建設され、40年以上が経過した市役所本庁舎は、耐震診断の結果、震度6~7程度の地震で倒壊または崩壊する恐れがあることが判明しました。このことを踏まえ、市では庁舎の建て替えを決定し、耐震性能の強化や窓口機能の集約などの新庁舎に求める機能を基本計画に定め、

平成28年度から約2年半をかけて、庁舎建て替えのための設計を進めてきました。この度、その設計業務が完了し、下記のとおり工事を開始いたします。皆さまにはご不便とご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。
 〓新庁舎建設室 ☎042-497-1805

工事概要

新庁舎建設工事を行う第1期工事と、新庁舎建物完成後に現庁舎を解体し駐車場などを整備する第2期工事を行います。第1期工事期間中は現庁舎で業務を継続し、第1期工事完了後に現庁舎から新庁舎への機能移転を行い、第2期工事以降は新庁舎で業務を行います。

新庁舎建設工事の内容

建設地	清瀬市中里五丁目842番地
構造	鉄筋コンクリート造・免震構造(地下1階柱頭免震)
敷地面積	10,497.60平方㍍
建築面積	敷地全体: 4,003.56平方㍍ 新庁舎: 2,436.23平方㍍
延床面積	敷地全体: 13,601.46平方㍍ 新庁舎: 10,401.51平方㍍
階数	地下1階 地上4階
工事請負契約額	4,626,720,000円(消費税込み)
施工者	株式会社 大林組 東京本店

新庁舎完成イメージ図



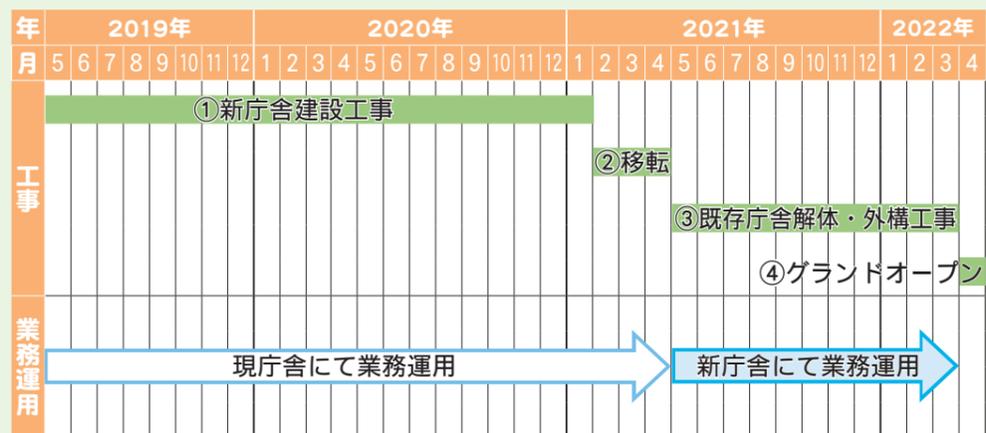
財政計画

新庁舎建設事業費は、新庁舎建設基本計画の概算事業費を上限として設計業務を進めてきました。しかし、オリンピックの開催や度重なる自然災害への対応による建築資材高騰などの影響により、計画事業費の見直しを行った結果増額となりました。このような中であっても、過去の経験値から発災時における防災拠点となる市役所庁舎の役割は、非常に重要であると考えますので、今後も引き続き市況の動向に注視しながら、事業を進めていきます。

事業費		財源	
工事費 ※1	47.5億円程度	国都支出金	5.0億円程度
委託費 ※2	1.9億円程度	公共施設等整備基金	25.5億円程度
備品・移転等費用 ※3	4.8億円程度	地方債	22.7億円程度
合計	54.2億円程度	一般財源	1.0億円程度
		合計	54.2億円程度

- ※1 工事費には新庁舎建設工事、現庁舎解体工事、外構整備工事、アスベスト除去工事を含む。
- ※2 委託費には測量調査、地盤調査、基本設計、実施設計、工事監理等を含む。
- ※3 備品・移転等費用には備品購入費・移転費・土地取得費等を含む。

今後の建設スケジュール



- ①第1期工事(新庁舎建設) ▶ ~2021年1月末 / ②新庁舎業務開始 ▶ 2021年5月上旬
- ③第2期工事(現庁舎解体等) ▶ ~2022年2月末 / ④敷地全体共用開始 ▶ 2022年4月上旬
- ※現段階での計画のため、今後の工事進捗状況に応じて変更する場合があります。

工事中の駐輪場・駐車場について

新庁舎建設工事は現在、現場での作業開始に向けた資材調達などの準備作業を行っています。準備完了後、現庁舎南側来庁者駐車場に仮囲いを設置し、工事を開始する予定です。工事開始の具体的な日程については、決定次第改めてお知らせいたします。工事期間中、市役所及び健康センターへ自動車でお越しの際は、市役所東側来庁者用仮設駐車場をご利用ください。また、駐輪場については、工事の進捗状況に合わせて本庁舎周辺に配置します。バス停の位置の変更はありません。工事開始に伴い、来庁者用駐車場・駐輪場の位置変更や大型車両の通行などで、近隣の皆さま及び来庁の皆さまにご不便とご迷惑をお掛けしますが、安全に工事を進めていきますので、ご理解とご協力をお願いします。

第1期工事中の来庁者用仮設駐車場予定図 (5月下旬以降)



新庁舎建設工事情報

新庁舎建設に関する情報は、市ホームページに掲載しています(「市政情報」→「新庁舎建設・公共施設の耐震化」からご覧になれます)。詳細はこちら



新庁舎スケールモデルを市役所1階に展示しています



本庁舎1階ロビーに縮尺1/300の「新庁舎スケールモデル」を展示しています。新庁舎の全体像が見られますので、ぜひご覧ください。

納税にご協力を

■夜間納税・納税相談 ☎ 5月29日(水)・30日(木)午後8時まで
 ■日曜納税・納税相談 ☎ 5月26日(日)午前9時~午後4時

■土曜納税・納税相談 ☎ 5月11日(土)午前9時~正午
 〓いずれも市役所徴収課窓口 ☎ 徴収課徴収係 ☎ 042-497-2045